

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	プレミアム中尾		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		~ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		~ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が困らないように 導線をしっかり決め 動きやすい環境を整えている。	目で見てわかる線や印をつけ 毎日繰り返し行うことで ルーティン化し利用者様が 困らないようにしている。	印のつけ方や導線、利用者様への説明を スタッフ全員が共通理解をし 同じ声掛けを行っていく。
2	スタッフへの研修や利用者様を交えた 避難訓練を必ず定期的に行い 記録している。	年間スケジュールをもとに 研修や避難訓練を行っている。	これからも記録する人が 固定化しないよう決めていく。 記録を使って振り返り次の 研修や避難訓練に繋げていく。
3	保護者様とこれからの支援について 密にお話しをし共通理解と 同じ支援をすることで 「できた」を増やしている。	家での困りごと等 なんでも話せるように 関係性を日々築いている。	送迎時などデイでの様子をしっかり お伝えし、デイでは出来ていることを 家でも活かせるよう繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会がない。	ご利用者の安全、安心を第一に考え 野外活動は昨年より増えましたが 地域の方との交流は増えていない。	地域の行事など視野にいれ ご利用者の無理のない範囲で 行っていきたい。
2	父母の会の活動支援や保護者会の開催等 保護者様同士の交流の機会の改善。	保護者会で保護者様同士が 交流できるようスタッフが場を提供する。	保護者会の時期が昨年とずれていることの 周知が出来ていなかったので 改善する。
3	保護者様が事業所の室内を 知らない方が多い。	事業所の中を見学して頂く機会が ほとんどない。	いつでも室内の見学ができることを 周知する。担当者会議など積極的に プレミアム中尾で開催し保護者様に 来ていただく。